



文化庁委託事業

平成28年度次代の文化を創造する
新進芸術家育成事業



新進演奏家育成プロジェクト

オーケストラシリーズ 第35回 広島

オーディションによって選ばれた

将来を期待される音楽家たちが広島交響楽団と夢の共演!

限りない可能性を秘めた、若さあふれるフレッシュな演奏をお楽しみください。

2017年2月2日[木] 開演18:30
(開場18:00)

JMSアステールプラザ大ホール



指揮：末廣 誠



管弦楽：広島交響楽団

全席自由 / 2,500円(税込)

チケット取扱い

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン
中国新聞社読者広報部・広響事務局

※都合によりプログラム等を変更する場合がございます。※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

主催：文化庁、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会

制作：公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会 後援：中国新聞社

◎お問い合わせ

広響事務局 TEL.082-532-3080 [平日 9:00~17:20受付]

Saxophone



Yuiko Masuda

増田 結子

[エリザベト音楽大学 卒業]

クレストン
サクソフォン協奏曲

Cello



Haruna Someya

染谷 春菜

[桐朋学園大学 卒業]

エルガー
チェロ協奏曲
ホ短調 Op.85

Marimba



Maho Ishida

石田 真歩

[エリザベト音楽大学 大学院1年]

安倍圭子
プリズム・ラプソディー

Piano



Maki Yanagihara

柳原 真希

[エリザベト音楽大学 3年]

プロコフィエフ
ピアノ協奏曲
第3番 ハ長調 Op.26



Yuiko Masuda
増田 結子

エリザベト音楽大学を卒業。同大学卒業演奏会出演。
在学中は4年間特別奨学生に選ばれ、学長表彰、奨励賞を受ける。
第17回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール入選。
第16回「万里の長城杯」国際音楽コンクール3位入賞。同コンクール入賞者披露演奏会出演。
第19回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルにて、ジャン=イヴ=フルモー氏のマスタークラスを修了。
第41回中四国新人演奏会、第13回サクソフォン新人演奏会、第32回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。
サクソフォンを宗貞啓二、甲斐尚美、林田裕和の各氏に師事。



Haruna Someya
染谷 春菜

栃木県鹿沼市出身。
幼少よりピアノを、13歳からチェロを始める。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。
これまでにチェロを、土山如之、宮田豊、倉田澄子、毛利伯郎の各氏に、室内楽を藤井一興、藤原浜雄、堤剛、毛利伯郎の各氏に師事。
クールシュベール国際音楽セミナー、いしかわミュージックアカデミー、パンフィック・ミュージック・フェスティバルをはじめ、各地の講習会や音楽祭等に参加。
2010年、鹿沼ジュニアフィルハーモニーオーケストラと、2015年、鹿沼フィルハーモニー管弦楽団とそれぞれ共演。
2015年10月より、広島交響楽団にて、チェロ奏者を務める。



Maho Ishida
石田 真歩

2012年3月、双子姉妹デュオ「Marimba Twins」&としてリサイタルを行う。第17回長江杯コンクール打楽器の部入賞。イタリア・モンテシルヴァーノで開催された第12回イタリア国際打楽器コンクールマリンバC部門セミファイナリスト。同年、Eric Sammu氏のマスタークラスを受講。TROMP国際打楽器コンクール・セミナー 2016においてEmmanuel Sejourne氏のマスタークラスを受講。最優秀受講生として表彰されコンサートに出演。エリザベト音楽大学演奏学科卒業、同大学卒業演奏会出演。大学院1年時、学長推薦により海外演奏旅行に参加。
現在、エリザベト音楽大学大学院1年。Kanon Marimba Quartetメンバー。学部4年時より広島ウインドオーケストラ研究団員。これまでにマリンバを神谷百子、浅田三恵子、辻寛子の各氏、打楽器を小川裕雅氏に師事。



Maki Yanagihara
柳原 真希

広島音楽高校を経て、AO特別奨学生としてエリザベト音楽大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻入学。現在3年次在学中。
ヒロシマ平和創造基金ヒロシマ・スカラシップ奨学生。
イェルク・デムス、ジャック・ルヴィエ、マーティン・ヒューズ、各氏のマスタークラスを受講。
後藤久美子、小嶋素子、渡邊健二、小島寛二、柴田美穂の各氏に師事。

指揮/末廣 誠

鹿児島県生まれ。鹿児島大学を経て桐朋学園大学で学ぶ。指揮を秋山和慶、堤俊作、H.レーグナーの各氏に師事。

1981年、石井敏によるオペラ「カント」の初演を指揮。1989年、リムスキー=コルサコフの歌劇「サルタン王の物語」の日本初演においては訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後オペラを数多く手がけ、豊富なレパートリーを誇っている。バレエでも初演を含め多くの作品に参加しており、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。

1990年にサボルチ交響楽団を指揮。同年、イェナ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、チューリッガー・アルゲマイネ紙に「真にプロフェッショナルな指揮者」と称賛される。1991年、第4回フィッテルベルク国際指揮者コンクールにおいて第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞。翌年よりポーランド国立放送交響楽団をはじめとするオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また、国立シレジア歌劇場においてヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、定期客演指揮者として高い評価を得た。1999年にはジャズピアノの巨匠チック・コリアと共演、同氏より絶大な信頼を寄せられる。

帰国後は仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、札幌交響楽団で指揮者を歴任。ほかにも多岐にわたる活動を続けており、執筆活動での軽妙な切り口が好評を得る一方、演奏会の司会や企画にもその才能は遺憾なく発揮されている。2007年レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか?」を刊行。東邦音楽大学特任准教授。



管弦楽/広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広島響は、1998年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール(広島響初)で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。
これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>